

指定管理者に係る令和5年度事業報告書及び令和6年度事業計画書について (荒川大麻生公園)

指定管理者：公益財団法人埼玉県生態系保護協会（令和3年度～令和7年度）

1 令和5年度事業報告書の概要

(1) 管理業務の実施状況

- ア 希少動植物を始めとする貴重な自然資源を将来に引き継ぐため、ボランティアの協力による環境管理作業を継続して行った。
- イ 公園の自然環境を活かしたイベント等を企画し、開催した。
 - ・わくわく野あそび隊「初夏の野はらで虫探し」、「みんなでミニ門松づくり」等
 - ・大麻生自然塾「秋の黄葉と渡り鳥探検ウォーク」等
 - ・エコ・パークボランティア（環境管理イベント）「野草広場の火入れ」等
- ウ スポーツ・レクリエーション利用が快適に行えるように、施設の適切な維持管理を行った。

(2) 施設の利用状況（過去5年間）

有料施設なし

(3) 収支状況

(単位：千円)

項目	決算額 a	予算額 b	決算額と予算額の比較		備考
			差額 c=a-b	差額の発生理由	
指定管理料	16,906	16,910	△4	エネルギー価格高騰に伴い増額対応した指定管理料の精算による減	
利用料金収入	0	66	△66	撮影利用の減による減	
その他収入	137	147	△10	イベントの雨天中止に伴う収入減による減	
収入合計	17,043	17,123	△80		
人件費	12,842	12,848	△6	自主事業実施対応人員の減による減	
事業費	4,232	4,275	△43	消耗品費縮減等による減	
支出合計	17,074	17,123	△49		
収支差額	△31	0	△31		

[参考] 指定期間における収支決算額の推移 (単位：千円)

項目	令和3年度	令和4年度
収入	17,031	17,024
支出	17,043	17,051
収支差額	△12	△27

2 令和6年度事業計画書の概要

(1) 基本的な考え方

- ア 希少動植物を始めとする貴重な自然資源を将来に引き継ぐため、ボランティア体制の充実を図り、適切な自然環境管理を行う。
- イ 公園の自然環境を活かしたイベント等の実施及び関連した広報活動により、荒川大麻生公園の自然資源を県民に向けてアピールする。
- ウ スポーツ・レクリエーションの利用が快適に行えるように、施設の適切な維持管理を行う。

(2) 事業計画

- ア 専門職員が企画する自然体験イベントや自然観察イベントの実施
- イ 草地、樹林地等の維持管理
- ウ 園内の巡回、清掃、安全管理 等
- エ 外来植物の除去や希少植物の生育数調査など、ボランティアとの協働による園内管理
- オ 団体利用の積極的な受け入れ、CSRに取り組む企業への活動場所の提案
- カ 荒川増水時の対応のため洪水時施設撤去マニュアル作成。増水時にはマニュアルに基づき対応
- キ イベントや自然情報について散策用のガイドを作成するほか、ホームページや SNS、行政発行物、ミニコミ誌などを通じ幅広い世代へ公園の情報を発信

(3) 収支予算書

(単位：千円、%)

項目	当年度予算額 a	前年度予算額 b	増減額 c=a-b	増減率(%) c/b*100	備考
指定管理料	17,610	16,910	700	4.1	
利用料金収入	66	66	0	0	
その他収入	135	147	△12	△8.2	
収入合計	17,811	17,123	688	4.0	
人件費	13,200	12,848	352	2.7	
事業費	4,611	4,275	336	7.9	
支出合計	17,811	17,123	688	4.0	
収支差額	0	0	0	0	

(4) 執行体制【9名】

総括責任者 (1) 〈公園運営を主管する〉

- ― 事務担当スタッフ (3) 〈事務・経理関係業務を担当する〉
- ― 現場担当スタッフ (4) 〈園地管理・利用者対応など現場業務を行う〉
- ― 現地連絡員 (1) 〈緊急対応・利用者対応など現場業務を行う〉

(参 考)

○公園の概要

熊谷市の河川区域内に位置する公園。多くの野鳥を観察することができる「野鳥の森」や、芝生の広がる自由広場がある。(供用面積166.7ha)

○開設年月日 昭和61年11月15日